

機械設備工事特記仕様書

浄化槽設備

1 処理方式

合併処理 ・ 建築基準法施行令第35条の認定品による ・ 建設省告示第1292号による。第() () 方式)

2 処理能力

処理対象人員 人

3 本体構造

処理水量 m3/日

4 放流水質

・ コンクリート製 ・ F R P 製

5 配管材料

BOD ppm 以下

・ 一般配管用ステンレス鋼管 ()

・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 ()

・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ()

・

・

6 土留め工法

3ヶ月間(月2回)点検を行い、完了後に報告書(点検記録、水質検査の結果)を提出すること。

7 報告

なお水質検査は、生物化学的酸素要求量 (BOD)、水素イオン濃度 (pH) 浮遊物質量 (SS)、大腸菌数 (最確数法) について実施する。

掘削工程

1 掘削方式

・ 浅井戸 ・ 深井戸

3 ケーシング

・ ロ - タリ - 式 ・ バ - カッション式 ・ ダウンザホールハンマ式

配管用炭素鋼鋼管 (黒)

・

4 ストレナー

ステンレス製巻線型 ・

5 電気検査

連続測定 ・ スポット測定

6 水質検査

行う (原水全項目) ・ 行わない

撤去工事

1 冷媒 (フロン系) の回収及び破壊

無 ・ 有

(1) 冷媒の回収にあたっては、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律 (フロン回収破壊法) 」に従って行うこと。

また、法に規定するものの他、次の書類を監督職員に提出すること。

(ア) 第一種フロン類回収業者登録通知書の写し

(イ) フロン類の最終処理に関する証明書

(2) 行程管理票の様式は、監督員の指示による。

(3) 家庭用エアコン等で「特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) 」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル (フロン類の回収を含む。) を行ない、監督員に次の書類を提出する。

(ア) 特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券) の写し

2 吸収冷凍機、吸収冷温水機等の臭化リチウム水溶液等

無 ・ 有

関係法令に従い、専門業者により適正に処理すること。

<改良樹標準図>

ため樹 (改良樹)

100

200

H

T1

T2

T3

A × B

300 × 300

400

60

60

100

捨コンクリート (30mm)

砕石

インバート樹 (改良樹)

100

200

H

T1

T2

T3

A × B

450 × 450

600

60

80

30

捨コンクリート (30mm)

砕石

モルタル

記号	A × B	H	T1	T2	T3
RK-1	300 × 300	400	60	60	100
RK-2	360 × 360	400	60	80	100
RK-3	450 × 450	410 ~ 600	60	80	100
RK-4	600 × 600	610 ~ 1,200	60	100	100

記号	A × B	H	T1	T2	T3
SK-1	450 × 450	~ 600	60	80	30
SK-3	600 × 600	610 ~ 1,200	60	100	50

<空調屋内機パネル落下防止参考図>

吊り鉄と同材を用いて斜め補強を4面に施す。

吊ボルト

吊ボルト

吊ボルト位置調整金具 (吊ボルトの位置調整が必要な場合)

防振吊金具

ワイヤー (1mm程度) 対角に設置 (200mm程度の余長を確保すること)

パネルの本体にワイヤーを固定

天井ふところ (H) が大きく参考図の振れ止めが有効でない場合は、監督職員と協議すること。

吊ボルト

振止め支持金具

吊ボルト位置調整金具 (吊ボルトの位置調整が必要な場合)

防振吊金具

ワイヤー (1mm程度) 対角に設置 (200mm程度の余長を確保すること)

パネルの本体にワイヤーを固定

別表

名称

配管類
・ 給水管
・ 排水管
・ 冷温水管
・ 冷媒管
・
弁類
・ 仕切弁
・ バタフライ弁
・ 逆止弁
・ 緊急遮断弁
・
ポンプ類
・ 冷却水ポンプ
・ 冷温水ポンプ
○ 揚水ポンプ
・
タンク類
・ 受水槽
・ 高架水槽
ボイラ - 類
・ 蒸気ボイラ -
・
空気調和設備工用機材
・ パッケージエアコン
・ 空気調和機 (AHU)
・ 冷却塔
・ ヘッダー
・
自動制御機器類
・ 中央監視盤
・ リモート盤
・ 制御盤
・
・
給排水衛生設備工用機材
・ 衛生器具
・ 水栓
・ 組立てマンホール
・
・
浄化槽
・ F R P 浄化槽
・ 動力盤、制御盤
・ ブロワー
・
・
さく井
・ スクリーン
・
・
・
・
その他
・ スリーブ (つば付鋼管)
・
・
・
・

表のうち選択する事項は、○ 印の付いたものを適用する。
○ 印のない場合は、 印を適用する。

その他

1) ステンレス材を酸洗いした場合、その廃液は産業廃棄物として適切に処理を行なうこと。

2) 工事中の安全確保

工事中は、外来及び病棟に、保守員及び交通整理人を配置し、安全の確保を行う事。

人員の配置は、計画書を提出して、係員の承諾を得る事。

(株)静岡建築設備計画

静岡県立こころの医療センター - 総務経営課

平成27年度 静岡県立こころの医療センター - 揚水ポンプ更新工事

検図

図番

図名

作成

図番

図名

日付

平成27年 9月

単位

NS

図名

機械設備工事特記仕様書 2/2

M - 03